

デュエット Duet



Vol. 32

2011.3

特集 子育ては母親だけのもの？～子育ての今～

上尾市女性団体協議会学習会 子育て講座「わらわらわらべ」

～地域・世代・性別を超えて、みんなで子育てを楽しもう～

「イクメン」してます！上尾のイクメンの星

私と男女共同参画社会 鈴木玲子さん

新着図書紹介

女性のための相談

男女共同参画推進センター事業～平成22年度講座・セミナーの様子～

男女共同参画推進センターでは、男女共同参画社会の実現に向けた啓発事業の一環としてさまざまな講座等を開催しています。

来年度も男女共同参画の視点に立つ講座等の開催を予定しています。きっと自分へのプラスアルファが見つかります。ぜひ参加してください！（右の吹き出しは参加者のアンケートから抜粋）

女性のための再就職支援セミナー
(6月24・25・7月2日)

就労に必要なパソコンにおけるエクセルの技術習得。面接での自己アピール法を学ぶ。

面接の基本的なことを分かりやすく教えていただき、ロールプレイも大変ためになった。

男女共同参画パネル展
(7月8日～14日)

男女共同参画週間(6月23日～29日)にちなんでパネル『統計に見る「仕事」と「生活」のいま』を展示。

働き方についてグラフ化されていて、見やすく考えさせられた。

年金講座
～セカンドライフを考えよう～
(9月4日)

男女が豊かなセカンドライフを過ごすため、ねんきん定期便を読み解く。

ライフプランを持つことは、生活を充実させていくために必要と感じた。

バス研修(施設めぐり)
国立女性教育会館・片倉シルク館・花久の里(10月13日)

国立女性教育会館にて男女共同参画社会について学ぶ。

男女が共に支え合い、互いの立場を尊重することが大事だと思った。



自己表現法講座
～カラーコーディネートを学ぶ～
(10月15日)



歴史講座「坂本龍馬」
～龍馬と共に生きた女性たち～
(11月26日)



その他の事業

男性講座「大切な人を守りたい」～さあ！お父さん出番です～(2月5日・19日)も実施されました。

特集 子育ては母親だけのもの？～子育ての今～

このところ、育児放棄や虐待のニュースをよく耳にします。子育てが母親の孤立・ストレスに感じるものとなっている背景があるのではないのでしょうか？父親が育児休業を取得しやすくするため昨年6月に改正育児・介護休業法が施行されました。また、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の言葉も耳にします。

子育ては母親だけのものでしょうか？魅力的な子育てとは...？

上尾市女性団体協議会学習会 子育て講座「わらわらわらべ」

～地域・世代・性別を超えて、みんなで子育てを楽しもう～レポート報告！

上尾市女性団体協議会主催による子育て講座『わらわらわらべ』が、昨年9月10・17日、文化センターで開催されました。講師の渡邊 寛さん（日本子ども家庭総合研究所嘱託研究員・NPO法人彩の子ネットワーク理事）により、『赤ちゃんから教えてもらったこと』と『あそびという宝もの』をテーマに、『赤ちゃん発見』を掘り下げるグループトーク。さらに、昔ながらの「花いちもんめ」などの「あそび」の体験では遊びの感覚を思い出し、歓声が沸き上がっていました。

参加者は、若い子育て世代から、子育てを離れた子育て支援世代と幅広く、世代を超えた交流の場となりました。平日ということもあり、残念ながら男性の参加者はおりませんでしたが、講師の渡邊さんは、「明日は、イクメン講座に行きますよ。10年前には考えられないことでしたが」と話されていました。

未来を担う子どもたち。社会全体で子育てする気運を高めていくことが必要ですね。



イクメンしてます！上尾のイクメンの星

inお父さんとももっこ広場（子育て支援センター事業・10/2）



「イクメン」は「育児を楽しめる格好いい男」を意味する造語。広告会社のコピーライターが名付け親です。厚生労働省は、男性がもっと積極的に育児に関わることができる社会を巻き起こすべく、昨年6月に『イクメンプロジェクト』を開始！公式サイトで「イクメン宣言」した男性から「イクメンの星」を選定しています。

今回のももっこ広場は運動会にちなんだ企画で勝負ものは本気モード!? お父さんが子どもとはりきる姿が印象的でした。そんな子育てお父さんたちにインタビュー！

小野田圭佑さん・匠志くん（西宮下在住）

私は、普段は仕事を中心の生活になっていますので、主に休みの土・日には子どもと家で遊ぶことを心がけています。そんな遊びをとおして感じることは子どもの成長です。子どもと関わることは楽しいですね。毎日休みなく世話している妻の大変さを感じますので、妻の育児の励みになるようにと、土・日は家事も手伝うことにしています。妻の不満、イライラが少しでも和らげばと思います。



宍野昌義さん・希望ちゃん（本町在住）

やはり妻の負担は大変だと思いますね。私は土・日は家事の手伝いもしています。少しでも妻の負担が軽くなればというのが、子育てに関わるきっかけです。そして土・日は遊びをとおして、子どもとのスキンシップを図っています。そんな中で、やはり子どもの日々の成長を楽しみにしています。一緒に楽しく遊んでいます。



佐藤幸一さん・幸太くん（西門前在住）

一日中、子どもと一緒に妻は大変だと思います。ですから、私が休みで家にいる時は、いつも朝から夕まで、“おみツ替え” “ごはん” “寝かしつけ”などはなるべくしています。子育てに関わって感じるのは子どもの一日の成長が早く、目に見えてわかること。とくに言葉の成長は早く、だんだんと単語がつながり文章になり会話ができるようになってきました。そんな時、楽しいと思います。あと、父として“しつけ”だけは厳しくしていきたいと思っています。





竹花 功さん・侑真くん（平塚在住）

我が家は妻が二人目を妊娠しました。体調の悪い時は休んでいますので、私は日常的に“お風呂”“食事の世話”や“寝かしつけ”などを手伝っています。子どもと一緒にいること自体が楽しいですね。今はいろいろ覚える時期で特に言葉を教えたりしていますが、その成長は著しいです。妻は大変だと思うので、私は自分の休みなどを子どもに合わせるようにしています。日中、なるべく自分がいる時は、子どもと居ることによって妻の負担が軽くなればと思っています。

沖本大輔さん・勲太くん（谷津在住）

私は子どもとの関わり方について、特に“しつけ”が大事だと思っています。親は子の鏡。父親として厳しさや優しさの両方をもって、そして常に楽しく子育てに関わっています。子どもとは自分の生き写し、親から受け継いでいくものが大きくありますね。父親として妻ができないところをしています。そして遊んでいる子供の笑顔を見ている時が、一番楽しいです。勲太の下にも子どもがいますので、寂しい思いをさせないようにしています。



地域で子どもを守る

小・中学生の下校時刻の午後2時半頃になると市内各所の防災無線スピーカーから『こちらは防災上尾、上尾市役所です。地域の皆さん、子ども達の下校時刻になりました。安全に下校出来るよう皆様のご協力をお願いします。』というメッセージが流れます。

各地域の学校応援団安全支援のボランティアがいつも不審者対策の抑止力となるように、不慮の事件や事故に巻き込まれないために、下校路の要所に立ち、あるいは低学年の通学班グループに付き添って自宅の近くまで送り届けるなどしています。さらに朝の登校時の見守りも実施しています。因みに市内の小22校、中11校に約4,000名が安全支援ボランティアとして登録しており、人によっては皆勤賞！子どもたちの安全のために頑張っています。



E.Aさん
(西宮下在住)

これまでの子育ては、母親に任せるのが当然のような意識が根強かったと思います。しかし、これからは夫（パートナー）との協力、地域や社会全体での支え合いが大切です。

母親が孤立した子育てを強いられることのないように。そして子どもたちが、支え合うみんなの笑顔で囲まれた明るい環境の中で育てられるように...！



私と男女共同参画社会

鈴木 玲子さん

(埼玉県男女共同参画審議会委員・二ツ宮在住)



多くの男性たちは「父親は家族を養うものだ」と思い、そのようにやってきた。今はそうしたくてもそんな風には働けなくなってしまう人もいて、年間3万人が自殺している。その一方で、子どもを虐待するのは実母が一番多く、虐待で亡くなる子どもは3日に一人という現実がある。

これから先の時代を生きる子どもたちを考えたときに、男の子に「強くあれ、弱音を吐いてはいけない」女の子は「かわいい子でいなさい」と育てていて良いのだろうか。女性たちが男にぶら下がって生きようとしている限り、この社会の歪を変えていくことはできない。

自立して生きたいと願うからこそひとり親になる。ひとり親家庭の親子が安心して生きられる社会になってこそ、誰もが自分を生きられるのではないかと。女性たちは、自分と自分の子どものことだけを考えていていいのだろうか。

今ともに生きている人の「大変」という声を他人ごとにしておくのは見殺しにしているのと同じ。孤立しない、孤立させない私たちの町をみんなで作っていくために、男女共同参画の視点で声をあげ、話し合う機会がとても大切です。

「ゲゲゲの女房」
「なぜ、人は生きるのか」
本書は、水木しげるという漫画家とその女房（本書の著者）が共に歩んだ人生の回顧録であり、読む人への生き方に関するメッセージです。
著者は自分の生まれ故郷、静かな島根県安来市の風景を愛おしむような語り口で書き始めます。そして結婚して上京します。上京当時は、漫画家という仕事が今のように認知されていなかった時代であり、赤貧生活を強いられます。しかし、漫画家・水木しげるの漫画を描く後ろ姿に絶対の信頼を置いて共に歩んだ一生を語ります。

そして、水木しげるが講談社の児童漫画賞を受賞したときには、今までの苦労が報われたと回想する。さらに「水木は不思議と出世する人と仲良くなり、そうした人が世に出てからも水木を盛りたててくださるという、良いご縁に恵まれた人間なのです。」と、水木しげるの人間性を語り、その人に寄り添ってきた自分の人生に間違いはなかったと振り返ります。

この女房あつてこそ、漫画家・水木しげるも大成したのでしよう。幸せのとりえ方は人さまざま、「終わりよければすべてよし」と、著者は「一生一度」の人生、自分に合った幸せをつかめと、強烈なメッセージを発信しています。

あなたの生き方を考える
この一冊
BOOK

男女共同参画推進センター図書コーナー 新着図書のご紹介

当センターでは、男女共同参画に関するさまざまなジャンルの図書の貸出を行っています。ぜひお気軽にご利用ください。

図 書 名	編 著 者 名	出 版 社
主婦の掟	梅田 みか	PHP研究所
もっと子どもとうまくいく!働くお母さんの習慣術	たけなが かずこ	PHP研究所
性犯罪被害にあうということ	小林 美佳	朝日新聞出版
それ、恋愛じゃなくてDVです	瀧田 信之	WAVE出版
男女共同参画と男性・男児の役割	原 ひろ子・近江 美保・島津 美和子	明石書店
なぜか夫婦がうまくいく3つの習慣~二人の危機を救う本~	吉岡 愛和	コスモトゥーワン
ぜったい離婚!から素敵な夫婦三昧~妻と夫のカウンセリング~	金盛 浦子	佼成出版社
一緒に楽しい!パパとママの子育てBOOK	成美堂出版編集部編	成美堂出版
「パパ権」宣言!~お父さんだって子育てしたい	川端 裕人・岸 裕司・汐見 稔幸	大月書店
女の活路 男の末路~老いの時代を生き抜くチカラ~	袖井 孝子	中央法規出版
しがみつかない生き方~「ふつうの幸せ」を手に入れる10のルール~	香山 リカ	幻冬舎
おまえうまそうだな(絵本)	宮西 達也	ポプラ社

所蔵図書利用について

- 対 象**：上尾市内に在住・在勤・在学の方ならどなたでも利用できます。
利用方法：図書館のような利用カードはありません。(名前と連絡先等を書いていただくのみ)
冊数・期間：一人5冊、2週間です。
開館時間：祝日・年末年始を除く月~金曜日の午前8時30分~午後5時です。

女性のための相談

自分の生き方や家族内の悩みや離婚問題、DV(夫婦間や恋人同士など親密な関係にある(あった)人から暴力をふるわれる、暴言を吐かれる)などさまざまな悩みを抱えている女性のために相談室を開設しています。相談は無料。

いずれも女性のカウンセラー、弁護士が対応しています。個人の秘密は厳守いたしますので、お気軽にご相談ください。

女性のための相談(カウンセラーによる相談)

日時 毎週水曜日午前10時~12時・午後1時~4時
(祝日・年末年始・第5水曜日除く)

時間 1人50分間 面接相談・電話相談ともに可

対象 市内在住・在勤の女性

【予約制：相談月の前月1日から受付】

女性のための法律相談(弁護士による相談)

日時 毎月第3火曜日
午後1時~4時

時間 1人30分間 面接相談のみ

対象 市内在住の女性

【予約制：相談日の前月1日から受付】

ご相談のご予約、お問い合わせについては、下記専用電話までお電話ください。

相談室専用電話：048-778-5110 **受付時間**：月~金 午前8時30分~午後5時

編集後記

子育ての特集で、皆さんが感じ、考えたことはどんなことでしょうか?子どもを産むことは女性にしかできませんが、育児は母親ひとりの責任ではないですね。男女共同参画の視点では、夫(パートナー)も積極的に育児に参加して欲しい!そして無限の可能性を持つ子どもは「社会の宝」です。社会全体の意識がこれまで進んできた少子化社会を変えていくかもしれません。

(編集協力員：雨宮 悦男・内村 真由美・林 博一・藤田 真紀子)

本紙へのご意見・ご感想をお待ちしています。氏名、住所、電話番号、性別、年代をご記入ください。